

■谷崎潤一郎 小説家。耽美主義で衝撃デビュー，“古典回帰”を経ての独自の世界まで，生涯，傑作を書き続けた。
たにざきじゅんいちろう
帝国大学始・1886＝ 東京日本橋の商家の長男として生まれる。父倉五郎は“敗残の江戸っ児”の世代に属する無気力なタイプ，母せきは性格の強い美人だったといわれ，その幼児環境は潤一郎の精神形成に大きく作用した。

帝国憲法発布1889＝ 3歳：

日清戦争始・1894＝ 8歳：
日清戦争終・1895＝ 9歳：

田中正造直訴1901＝15歳：東京府立第一中学校に入学したが，
教科書疑獄・1902＝16歳：父が家業に失敗したため，書生をしながら，

日露戦争始・1904＝18歳：
日露戦争終・1905＝19歳：_第一高等学校英法科に進み，文芸部員になったり，校友会誌に作品を発表したりする。

アヲヲヰ 創刊・ 1908＝22歳：伯父や親友の家から援助を受け，東京帝国大学国文科に入学。

韓国併合・・1910＝24歳：_小山内薫，和辻哲郎らと第2次{新思潮}を発刊し，同誌に「刺青」「騷」などの短編小説を発表，
大逆事件判決1911＝25歳：_*{三田文学}誌上で永井荷風に激賞され，一躍文壇に登場する。学費未納のため退学，ただちに作家生活に入り，短編集「刺青」を刊行。
明治天皇没・1912＝26歳：徴兵検査不合格。続いて「悪魔」を発表。
世評は，潤一郎を反自然主義の若き旗手とみなし，のちに耽美主義の時代とされた。

大正政変・・1913＝27歳：
21ヶ条要求・1915＝29歳：石川千代と結婚。「お艶殺し」を発表。
民民主義・・1916＝30歳：長女が誕生。「神童」を発表。
ロシア革命・1917＝31歳：母を失う。「異端者の悲しみ」を発表。
ペルシヤ条約・1919＝33歳：父を失う。「母を恋ふる記」を発表。「近代情痴集」を刊行。

原敬首相暗殺1921＝35歳：「潤一郎傑作全集」刊行。_親交あった佐藤春夫が妻千代と関係したことから絶交(小田原事件)。
水平社結成・1922＝36歳：この間，いくつかの戯曲を発表するが，概して不振。
関東大震災・1923＝37歳：箱根で関東大震災に遭い，関西に移住。
護憲三派圧勝1924＝38歳：_*その不振に終止符を打ったのが，代表作「痴人の愛」の成功で，

日本時代始・1926＝40歳：「谷崎潤一郎集」刊行。
金融恐慌・・1927＝41歳：芥川龍之介と論争の直後に，彼が自殺し，その死を悼む。
共産党事件・1928＝42歳：_しだいに伝統文化と古典文学に眼を開き，「卍」，「蓼喰ふ虫」を発表。

海軍軍縮条約1930＝44歳：「乱菊物語」。_妻千代と離婚し，佐藤春夫に譲る。
満州事変・・1931＝45歳：「吉野葛」「盲目物語」，
五一五事件・1932＝46歳：「蘆刈」，
国際連盟脱退1933＝47歳：「春琴抄」「陰翳礼讃」など“語り”の機能を生かした作品が次々と書かれ，“古典回帰”の時代となる。
帝人疑獄事件1934＝48歳：根津松子と同棲。丁未子との婚姻届を提出。「文章読本」を刊行。
芥川直木賞始1935＝49歳：丁未子と離婚し，松子と結婚。_「源氏物語」の現代語訳に着手，

日中戦争始・1937＝51歳：帝国芸術院会員となる。

第二次大戦始1939＝53歳：長女が結婚。_「潤一郎源氏物語」を刊行。
大政翼賛会・1940＝54歳：
日米開戦・・1941＝55歳：日本芸術院会員となる。
・・・・・1942＝56歳：_大作「細雪」の執筆を始め，
創価学会検査1943＝57歳：_発表し始めたところ，弾圧により，掲載禁止となる。
年金+総武装1944＝58歳：_密かに執筆を続け，上巻を自費出版して，友人知己に配ったが，以後の印刷も禁止される。
敗戦・・・・1945＝59歳：
新憲法公布・1946＝60歳：_戦後直ちに「細雪」上巻が刊行される。
新憲法施行・1947＝61歳：「細雪」中巻を刊行。下巻を発表し，毎日出版文化賞。
極東裁判決・1948＝62歳：「細雪」下巻の刊行により完結した。
三大事件・・1949＝63歳：王朝文学の世界を舞台に母性思慕の主題を描いた「少将滋幹の母」を発表。_*「細雪」により朝日文化賞。文化勲章受章。以後，健康を害することが多くなる。

独立回復・・1951＝65歳：「潤一郎新訳源氏物語」を刊行。

55年体制始・1955＝69歳：「幼少時代」を発表。
国連加盟・・1956＝70歳：_“芸術かワイセツか”という論争をひきおこした「鍵」を発表。
なべ底不況・1957＝71歳：「谷崎潤一郎全集」刊行。
インストメン・1958＝72歳：

安保闘争・・1960＝74歳：狭心症で入院。
タイタイ病始・1961＝75歳：_“古い”と“性”との葛藤を追求しつつした「瘋癲老人日記」を発表。

TV宇宙中継始1963＝77歳：_「瘋癲老人日記」により，毎日芸術大賞。
東京リビノッパ1964＝78歳：_日本人最初の全米芸術院・米国文学芸術アカデミー名誉会員となる。
大学紛争始・1965＝79歳：_腎不全と心不全により，没した。

新潮日本文学アルバム，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」，